

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部空港・資産活用課		担当課長名	梶原 公彦	
(※)第2期実施計画の事業名	空港周辺活性化事業		財務会計上の事業名	空港周辺活性化事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1031	1	財務会計上の短縮番号	233	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第3節大阪国際空港の活用			
	項目	項目1空港を生かした地域づくり			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	大阪国際空港利用者の利便性確保や周辺地域の振興及び活性化を図る。		
事業の対象 (誰を、何を)	○大阪国際空港利用者及び旅客 ○大阪国際空港周辺地域活性化連絡会 ○全国民間空港関係市町村協議会		
事業の手段・方法 (どのように)	○全国民間空港関係市町村との連携 ○空港及び周辺地域の活性化 ○空港機能の充実及び施設整備		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項			

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		290		290		295		302		101.7%
主な内訳	負担金	285		285		285		287		100.0%
	消耗品費	5		5		10		15		200.0%
人件費(人・千円)		0.80	6,240	0.55	4,290	0.50	3,800	0.61	4,514	90.9%
内訳	正職員	0.80	6,240	0.55	4,290	0.50	3,800	0.61	4,514	90.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		6,530		4,580		4,095		4,816		89.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	6,530		4,580		4,095		4,816		89.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)			<input type="checkbox"/> 2 実施予定			<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し		
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能		
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	空港周辺の自治体、団体等と情報交換、協議のうえで成り立っている事業であり、導入になじまない。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	空港ビル屋上展望デッキ利用者	千人	1,247	1,258	1,129	1,000	1,300
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	全国民間空港所在市町村との連携	自治体	87	89	89	90	92
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	大阪国際空港年間旅客数	千人	14,101	14,621	14,626	14,630	15,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	「空の日」来場者数	千人	20	30	18	25	30
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	「空楽フェスタ」来場者数	千人	9	6	7	7	10
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		発着枠がフル活用され、利用者利便が向上し、年間旅客数が増加したため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	コンセッションにより、日本で初めて純粋な民間企業による空港運営が始まった。加えてMRJなどの低騒音機の導入も予定されており、騒音総量を守った上で、近距離国際線など、利用者利便向上に向けた議論が進み、さらに活性化に向けた事業展開がおこなえる可能性があるため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	周辺地域の振興及び活性化のため、要望活動及び空港イベントへの参加を継続していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	費用対効果も含め、定例イベント等事業内容の検証及び今後の継続性。
	対 策	今後も周辺自治体や関係機関との連携・協力が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	コンセッション後の新たな運営権者や周辺自治体、関係機関とも連携・協力し、大阪国際空港や周辺地域がより活性化するように事業活動をおこなう。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部空港・資産活用課		担当課長名	梶原 公彦	
(※)第2期実施計画の事業名	空港周辺騒音対策事業		財務会計上の事業名	空港周辺騒音対策事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1033	1	財務会計上の短縮番号	232	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第3節大阪国際空港の活用			
	項目	項目3周辺環境の整備			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	空港周辺地域住民の安全で良好な生活環境確保		
事業の対象 (誰を、何を)	大阪国際空港周辺都市対策協議会(10市協)		
事業の手段・方法 (どのように)	<input type="checkbox"/> 国や新関西国際空港株式会社等への要望活動の実施 <input type="checkbox"/> 協議会の開催		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項			

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		208		120		224		125		186.7%
主な内訳	負担金	59		58		58		60		100.0%
	消耗品費	41		40		37		22		92.5%
	燃料費	25		22		14		23		63.6%
人件費(人・千円)		0.60	4,680	0.70	5,460	0.70	5,320	0.60	4,440	100.0%
内訳	正職員	0.60	4,680	0.70	5,460	0.70	5,320	0.60	4,440	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		4,888		5,580		5,544		4,565		99.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	4,888		5,580		5,544		4,565		99.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)			<input type="checkbox"/> 2 実施予定			<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し		
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能		
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	空港周辺自治体等との情報交換、協議によって成り立つ事業であり、導入に馴染まない。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	神田会館における騒音測定値	WECPNL	69	70	69	69	69以下
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	大阪国際空港環境対策費(新関空(株))	百万円	1,592	1,460	1,752	1,752	1,752
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	協議会の開催	回	14	12	11	11	11
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	要望活動の実施	回	3	4	3	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		神田会館における騒音測定値が環境基準以下のため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	航空機騒音軽減のため飛行ルート等の改善策を実施しているところであるが、騒音総量削減のため、大阪国際空港への低騒音機の積極的な導入を促すため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容			
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他		
上記の内容	10市協を通じ、騒音値軽減の要望を行っており、低騒音機導入や騒音軽減運航により神田会館での騒音値(WECPNL)も環境基準以下となっている。今後も環境が維持されるよう引き続き要望する。		
現在抱える課題と対策	課 題	新関西国際空港株式会社から関西エアポート株式会社への確実な事業承継の実施。	
	対 策	新関西国際空港株式会社に対して、確実な事業承継等の要望。	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針			
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他		
選択の理由	これまで新関西国際空港株式会社には、確実な事業承継を要望してきており、コンセッション後の新たな運営権者である関西エアポート株式会社に対しても、これまでと変わらず、事務事業の目的のとおり活動等を行う方針のため。		

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部空港・資産活用課		担当課長名	梶原 公彦	
(※)第2期実施計画の事業名	民家防音空調機器更新工事補助事業		財務会計上の事業名	民家防音空調機器更新工事補助事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1033	2	財務会計上の短縮番号	234	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第3節大阪国際空港の活用			
	項目	項目3周辺環境の整備			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	空港周辺地域住民の安全で良好な生活環境の確保
事業の対象 (誰を、何を)	航空機騒音対策防止法上の第1種騒音対策区域内 対象件数:約2,000世帯
事業の手段・方法 (どのように)	新関西国際空港株式会社及び府の助成後の住民基本負担額のうち一定率を助成
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市空気調和機器更新工事住民基本負担額補助金交付要綱

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		189		955		1,579		4,900		165.3%
主な内訳	補助金	189		955		1,579		4,900		165.3%
										-
人件費(人・千円)		0.80	6,240	0.55	4,290	0.55	4,180	0.35	2,590	100.0%
内訳	正職員	0.80	6,240	0.55	4,290	0.55	4,180	0.35	2,590	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		6,429		5,245		5,759		7,490		109.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	6,429		5,245		5,759		7,490		109.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	処理件数が少なく(平成27年度年間30件)、委託するメリットが見込めないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	空調機器機能回復補助費	千円	189	955	1,579	4,900	2,500
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	神田会館における騒音値	WECPNL	69	70	69	69	69以下
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	空調機器機能回復補助件数	件	5	18	30	90	50
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		更新工事の申請に対し、適切な審査を経て補助を行った						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		空調機器の普及に合わせた助成内容の適正化及び空調機器の4回目の更新工事の制度創設等、検討する余地があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	制度の広報・周知と適切な補助の手続きを従前通り行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	空調機器が普及している現在において、基準額等の助成制度の再検証が必要。
	対 策	空港運営権者の関西エアポート株式会社との協議、検証等の要望。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	空調機器の普及、航空機の低騒音機化により本助成制度内容は見直し時期であると認識しているものの、国の制度に準拠しているものでもあり、また、空港周辺地域への助成の歴史的経緯、近隣市の状況等も考慮することが必要で、並行して市の方針を検討する必要がある。	